



中村芳中 《白梅小禽図屏風》 細見美術館

光琳を慕う Hōchū meets Kōrin 中村芳中

展覧会概要

中村芳中（?～1819）は江戸時代後期に大坂を中心に活動しました。最初は文人画風の山水や指頭画を描きますが、尾形光琳の画に傾倒し、たらし込みを駆使した作品を描くようになります。江戸へ下った芳中は享和2年（1802）に『光琳画譜』を出版します。江戸琳派の祖として近年人気の高い酒井抱一が琳派風の作品を描き始めるのとほぼ同時期のことでした。その後芳中は大阪へ戻り、ぼったりしたかたちのほほえましい作品を多く残しました。

芳中については『中村芳中画集』がすでに1991年に出版されており、2003年には細見美術館で芳中を取り上げた展示が行われています。今までの成果を踏まえて、芳中の世界に多角的に迫る展示を目指し、尾形光琳から中村芳中に至る琳派の画家、当時の大阪画壇の作品も併せて展示します。

*会期中に大幅な展示替えを行います。

- 会場 千葉市美術館
- 会期 2014年4月8日(火)～5月11日(日)
- 主催 千葉市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
- 協賛 ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン、日本テレビ放送網
- 開館時間 10:00～18:00 金・土曜日 10:00～20:00 *入場受付は閉館の30分前まで
- 休館日 4月21日(月)、5月7日(水)
- 観覧料 一般 1000円(800円) 大学生 700円(560円)

*小・中・高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

*（ ）内は前売り、団体20名以上、および市内にお住まいの65歳以上の方の料金

* 前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ(11月17日まで)、ローソンチケット[Lコード:39356]、セブンイレブン

[セブンコード:027-430]および、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口(5月11日まで)にて販売

リピーター割引

本展チケット(有料)
半券のご提示で、2回
目以降の観覧料が半額
になります。

見どころ

◎ 中村芳中って誰？

「琳派」を代表する尾形光琳と、「江戸琳派」で有名な酒井抱一は現在でも大変な人気をほこります。芳中は光琳の画風を慕い、抱一とはほぼ同時代。琳派の系譜に位置づけられながらも、これまでまとまって紹介される機会の少なかったのが中村芳中です。

◎ “かわいい” 琳派

芳中の出世作である『光琳画譜』には、芳中の他の作品に出てくる要素がもりだくさん。犬や鳥、人までもが独特のゆったりとしたフォルムで描かれています。光琳の装飾性や、抱一の絢爛さとは異なる、見る人の気持ちを和ませる愛らしい画風は、まさに“ゆるかわ”。また、琳派の技法の一つである「たらしこみ」をふんだんに使った作品なども必見です。

◎ 約200点を紹介する初めての大同回顧展

木村兼葭堂を中心とする大坂の文化サロンとも交流していた芳中。その周辺の画家たちの作品や、尾形光琳、尾形乾山、立林何昂らの作品をあわせて展示。芳中の画業を多角的に検証します。芳中が得意とした扇面や、掛軸、画帖、屏風など多様な作品群を紹介。初公開資料を多く含む約200点が一堂に会するのは、初めての機会となります。

同時開催

所蔵作品展 「春爛漫—千葉市美術館所蔵版画100選—」

*「光琳を慕う—中村芳中展—」をご観覧の方は無料

「光琳白草の系譜」

教材：王中良、王（2014）《中国法律史》（第1版）（北京：中国政法大学出版社）

4月12日(土)14:00~(13:30開場)

11 陸講堂にて / 聴講無料

先着150名(当日12:00より)

「おれい」琳派 中村基一

潜虾:短长皮线(细目美代鮎)

4月20日(日)14:00~(13:30開場)

11 陸講堂にて / 聴講無料

先着150名(当日12:00より)

「井上さん」

References

5月10日(土)14:00~(13:

11階講堂にて／観覧無料

先着150名(当日12:00より)

4月8日(火) 14:00より(1時間程度) 10階会議室にて(その後 8・7階展示室へご案内いたします)

参加ご希望の方は同封の申込書に必要事項をご記入の上 FAXにてご連絡ください。

100%

2014年5月20日(火)~6月29日(日)

100%

260-8733

<http://www.ccma-net.jp>

・徒歩約15分

・バスのりば

・千葉都市モノレール県庁前方面行「^{よしかわ}菟川公園駅」下車徒歩約5分

◎京成千葉中央駅東口より徒歩約10分

◎東京方面から車では京葉道路・東関

◎千葉市中央区役所と同じ建物です

◎地下に区役所と共有の駐車場があ





1. 中村芳中 《許由巢父・蝦蟇鉄拐図屏風》
個人蔵
画像提供：東京国立博物館 Image:TNM Image Archives



2. 中村芳中 《白梅小禽図屏風》
細見美術館



3. 尾形光琳 《燕子花図》
大阪市立美術館



4. 中村芳中
《白梅図》
千葉市美術館



5. 中村芳中
《老松立鶴図》
個人蔵



6. 中村芳中 《公卿觀楓圖》
個人藏



7. 中村芳中
『光琳画譜』より 享和2年(1802)刊
千葉市美術館(ラヴィッツ・コレクション)

「光琳を慕う ― 中村芳中展」
広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

■ 写真ご使用に際してのお願い

- * 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- * 写真のご利用は、1 申込について 1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
- * 基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
- * 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付くださいますようお願いいたします。
- * お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。
原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送りいたします。

千葉市美術館
広報担当 行
FAX: 043-221-2316

貴社名：	媒体名：
ご担当者名：	発行予定日：
TEL：	発行部数：
FAX：	定価：
Email：	掲載予定コーナー名等：
画像到着希望日： 月 日 時まで	画像の掲載サイズ（おおよそで結構です 例：5cm 四方、など）：

■ 画像データ申込（ご希望のデータの番号に○をつけてください。）

1. 中村芳中 《許由巢父・蝦蟇鉄拐図屏風》 個人蔵 画像提供：東京国立博物館 Image:TNM Image Archives
2. 中村芳中 《白梅小禽図屏風》 細見美術館
3. 尾形光琳 《燕子花図》 大阪市立美術館
4. 中村芳中 《白梅図》 千葉市美術館
5. 中村芳中 《老松立鶴図》 個人蔵
6. 中村芳中 《公卿観楓図》 個人蔵
7. 中村芳中 『光琳画譜』より 享和2年(1802)刊 千葉市美術館(ラヴィッツ・コレクション)

■ プレゼント用招待券申込

（ご希望の場合はチェックをつけてください）

☐ 5 組 10 名様分 希望します。
（それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談下さい。）

チケット送付先
ご住所：〒

問い合わせ先

千葉市美術館 〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

Tel. 043-221-2311（代表） / 043-221-2313（直通）

Fax. 043-221-2316

HP. <http://www.ccma-net.jp/>

担当学芸員：伊藤紫織

広報担当：磯野 愛



中村芳中

Hōchū meets Kōrin

光琳を慕う

記者レクチャー参加申込書

報道関係の皆様を対象に、披露説明会を行います。
スライドレクチャーにて作品の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧ください。

4月8日(火) 14:00より(1時間程度) 10階会議室にて

*その後、8・7階展示室へご案内いたします

参加ご希望の方は下記にご記入の上、こちらの用紙を
FAX(043-221-2316) までご返信ください。

ご芳名

ご所属

お電話番号

E-mail address

問い合わせ先

広報担当 磯野 愛

Tel. 043-221-2313 (直通)

千葉市美術館

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

HP. <http://www.ccma-net.jp/>